

## 居宅介護支援事業所調査

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
また、日頃から足立区の高齢者施策にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
本区では、令和2年度に「足立区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。

今回の調査は、計画の見直しにあたり、高齢者福祉に関する皆さまのお考えやご意見をお伺いするものです。いただいたお考えやご意見は、高齢者保健福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。

ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 12 月吉日

## 【ご記入にあたってのお願い】

1. 回答は事業者の代表者の方がご記入いただけますようお願いいたします。
2. 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。また、必要に応じて、数字やご意見のご記入をお願いします。
3. ご記入いただいたアンケートは、1月8日（水）までに同封の返信用封筒にてご返送ください。（切手は不要です）
4. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

\* 調査結果は、厳重に管理して統計的に処理し、調査以外の目的には使用しません。  
お答えいただいた事業所や個人のお考えが公表されることはありません。

## [調査主体・お問い合わせ先]

足立区 高齢者施策推進室 介護保険課 介護保険係  
足立区中央本町1-17-1  
03-3880-5887（直通）（受付時間：土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時）

## 問1 貴事業所についてお答えください。

## ① 事業所名をご記入ください。

事業所名	
------	--

## ② 貴事業所の併設事業をお答えください（いくつでも〇）。

- |                      |                                    |
|----------------------|------------------------------------|
| 1. 居宅介護支援            | 24. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護               |
| 2. 介護予防支援            | 25. 夜間対応型訪問介護                      |
| 3. 訪問介護              | 26. 認知症対応型通所介護                     |
| 4. 訪問入浴介護            | 27. 介護予防 認知症対応型通所介護                |
| 5. 介護予防 訪問入浴介護       | 28. 小規模多機能型居宅介護                    |
| 6. 訪問看護              | 29. 介護予防 小規模多機能型居宅介護               |
| 7. 介護予防 訪問看護         | 30. 認知症対応型共同生活介護<br>(グループホーム)      |
| 8. 訪問リハビリテーション       | 31. 介護予防 認知症対応型共同生活介護<br>(グループホーム) |
| 9. 介護予防 訪問リハビリテーション  | 32. 看護小規模多機能型居宅介護                  |
| 10. 通所介護             | 33. 介護老人福祉施設                       |
| 11. 通所リハビリテーション      | 34. 介護老人保健施設                       |
| 12. 介護予防 通所リハビリテーション | 35. 介護療養型医療施設                      |
| 13. 短期入所生活介護         | 36. 介護医療院                          |
| 14. 介護予防 短期入所生活介護    | 37. 居宅療養管理指導                       |
| 15. 短期入所療養介護         | 38. 介護予防 居宅療養管理指導                  |
| 16. 介護予防 短期入所療養介護    | 39. 総合事業 訪問型サービス                   |
| 17. 福祉用具貸与           | 40. 総合事業 通所型サービス                   |
| 18. 介護予防 福祉用具貸与      | 41. 病院・診療所                         |
| 19. 特定福祉用具販売         | 42. 地域包括支援センター                     |
| 20. 介護予防 特定福祉用具販売    | 43. その他 ( )                        |
| 21. 住宅改修             | 44. なし                             |
| 22. 特定施設入居者生活介護      |                                    |
| 23. 介護予防 特定施設入居者生活介護 |                                    |

## ③ 事業所の経営主体は何ですか（1つに〇）。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 営利法人   | 5. その他法人 ( ) |
| 2. 医療法人   | 6. 個人        |
| 3. 社会福祉法人 | 7. その他 ( )   |
| 4. NPO法人  |              |

④ 職員体制についてお答えください。※令和元年10月1日現在

	正規職員		非正規職員*	
	専任	兼務	専任	兼務
施設責任者(管理者)	人	人	人	人
生活相談員	人	人	人	人
事務職員	人	人	人	人
介護支援専門員	人	人	人	人
うち、主任介護支援専門員	人	人	人	人
その他	人	人	人	人
合計	人	人	人	人

⑤ 年齢構成についてお答えください(数字を記入)。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
正規職員	人	人	人	人	人	人	人	人
非正規職員	人	人	人	人	人	人	人	人

\*非正規職員：いわゆるパート・アルバイト

問2 貴事業所の介護支援専門員の人数を、勤務年数別にお答えください。また、主任介護支援専門員の人数をお答えください(数字を記入)。

※ 令和元年10月1日現在

	人数	うち、主任		人数	うち、主任
1. 1年未満	人	人	4. 3年~4年未満	人	人
2. 1年~2年未満	人	人	5. 4年~5年未満	人	人
3. 2年~3年未満	人	人	6. 5年未満以上	人	人

問3 貴事業所では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか(3つまで○)。

1. 基本的な技術や実践的知識の向上	7. ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底
2. 利用者の状態に応じた応用技術の向上	8. 制度に対する最新情報の取得
3. ケアマネジメント技術やアセスメント能力の向上	9. 第三者評価の実施
4. 利用者への対応の仕方など、マナーやコミュニケーション技術の向上	10. 事業所内でのキャリアパスの構築
5. 苦情や相談への対処能力の向上	11. その他 ( )
6. 処遇困難者への対処能力の向上	12. 特にない

問4 貴事業所では、介護職員等の人材は確保できていますか(1つに○)。

1. 確保できている	3. 確保が難しいこともある
2. 概ね確保できている	4. 確保できていない

問5へ

問4で「3. 確保が難しいこともある」、「4. 確保できていない」と回答した事業所にお聞きします。

問4-1 その理由は何ですか(いくつでも○)。

1. 求人・募集に対し応募が少ない・ない	6. 介護への理解・関心が低い
2. 求める人材の応募が少ない・ない	7. 施設へ人材が流れてしまう
3. 給与が労働条件に見合わない	8. 福利厚生等の労働環境が整っていない
4. 離職・退職者が多い	9. 地域の特性
5. 重労働である・そのイメージがある	10. その他 ( )

問4-2 人材確保支援策として有効だと思うものは何ですか(いくつでも○)。

1. 給与・待遇の改善	5. 研修・教育等の充実
2. 募集方法の改善	6. 業務内容の見直し
3. 職場環境・勤務体制の改善	7. その他 ( )
4. 福利厚生の充実	

問5 貴事業所では、どのような方法で職員の募集を行っていますか(いくつでも○)。

1. ハローワークに求人票を出している
2. 大学等に求人票を出している
3. 専門学校に求人票を出している
4. 高校に求人票を出している
5. 新聞の折り込み広告等に求人を掲載している
6. 職業紹介雑誌等に求人を掲載している
7. 就職相談会等の機会にブースを設けている
8. 関東圏域以外へ求人のため足を運んでいる
9. インターネット媒体を介して募集している
10. 人材派遣会社に依頼している

問5-1 上記以外で職員の募集に工夫をしていることがあればお聞かせください。

問5-2 問5の職員募集で効果のあったものは何ですか(3つまで数字を記入)。

( )、( )、( )

問6 平成30年（1月から12月）の入職率と離職率についてお答えください。  
（数字で記入）

【正規職員について】

【入職率】30年年初の正規職員数に対する30年の入職者（正規職員）数の割合 %

【離職率】30年年初の正規職員数に対する30年の離職者（正規職員）数の割合 %

【非正規職員について】

【入職率】30年年初の非正規職員数に対する30年の入職者（非正規）数の割合 %

【離職率】30年年初の非正規職員数に対する30年の離職者（非正規）数の割合 %

問7 貴事業所では、災害時の対策を実施・計画していますか（いくつでも）。

1. 水害対策を含む非常災害対策計画・マニュアルを策定している
2. 水害対策を含まない非常災害対策計画・マニュアルを策定している
3. 災害時の備蓄対策をしている → 問7-2へ
4. 非常用電源を準備している
5. 施設の耐震対策（ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など）を実施している
6. 防災訓練を毎年実施している
7. 防災訓練などで近隣の住民組織（町内会、自主防災組織）と連携している
8. ハザードマップで事業所の危険度を確認している
9. 災害時の責任者が決まっている
10. その他（ ）
11. 特に何もしていない

問7で「1. 水害対策を含む非常災害対策計画・マニュアルを策定している」又は「2. 水害対策を含まない非常災害対策計画・マニュアルを策定している」と回答した事業所にお聞きします。

問7-1 策定されている非常災害対策計画・マニュアルに含まれている項目は何ですか（いくつでも）。

1. 施設等の立地条件
2. 災害に関する情報の入手方法
3. 災害時の連絡先（自治体、家族、職員等）及び通信手段
4. 避難を開始する時期及び判断基準
5. 避難場所（区が指定する避難場所、施設内の安全なスペース等）
6. 避難経路及び所要時間
7. 利用者ごとの避難方法（車いす、徒歩等）
8. 垂直避難の判断
9. 災害時の人員体制・指揮系統（参集方法、役割分担、避難に必要な職員数等）
10. 関係機関との連携体制
11. その他（ ）

問7で「3. 災害時の備蓄対策をしている」と回答した事業所にお聞きします。

問7-2 備蓄は定員および職員あわせて何日分準備していますか（数字で記載）。

（ ）日分程度

問8 貴事業所は平成31年・令和元年に水害を含む避難訓練を実施しましたか。  
（1つに○・数字で記載）。

1. 実施した→（年 回数） 2. 実施していない→（予定時期 年 月頃）

問9 貴事業所は10月の1か月間で何名の方のケアプランを作成していますか。平成30年10月分と令和元年10月分についてお答えください（数字を記入）。

	平成30年10月	令和元年10月
ケアプラン作成件数	件	件
うち、足立区の利用者へのケアプラン作成数	件	件

問9-1 令和元年10月につきまして、要支援・要介護度の件数をお答えください（委託を含む）（数字を記入）。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計

問10 貴事業所は介護予防プランの委託を受けていますか（1つに○）。

1. 受けている 2. 受けていない

問10-1へ

問11へ

**問 10で「1. 受けている」と回答した事業所にお聞きします。**

**問 10-1 令和元年 10月の1か月間で何件の介護予防プランの委託を受けていますか。**

( ) 件

**問 10-2 介護予防プランの作成件数を増やすことはできますか (1つに○)。  
また、その理由は何ですか (いくつでも○)。**

1. 増やすことができる	1. 件数に空きがある 2. 地域に貢献したい 3. 増やすことはできるが、包括から依頼がない 4. その他 ( )
2. 増やすことはできない	1. 会社の方針 2. 対応可能な職員不足 3. プラン数の上限 4. 退職予定の補充の見通しがない 5. 予防プランの作成に手間がかかる 6. その他 ( )
3. どちらともいえない	1. これ以上増やしたくないが、断ると次の新規がもらえなくなりそう 2. 収益上、予防プランを増やすことは難しい 3. 頻繁に変動があり、人員不足の可能性はある 4. その他 ( )

**問 11 ケアプランを立てる際に、区内でサービスの供給量が不足している介護サービスはありますか (いくつでも○)。**

1. 訪問介護	12. 介護療養型医療施設
2. 訪問入浴介護	13. 介護医療院
3. 訪問看護	14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
4. 訪問リハビリテーション	15. 夜間対応型訪問介護看護
5. 通所介護	16. 認知症対応型共同生活介護
6. 通所リハビリテーション	17. 小規模多機能型居宅介護
7. 短期入所生活・療養介護	18. 認知症対応型通所介護
8. 居宅療養管理指導	19. 看護小規模多機能型居宅介護
9. 特定施設入居者生活介護	20. その他 ( )
10. 介護老人福祉施設	21. 供給不足とは思わない
11. 介護老人保健施設	

**問 12 介護予防プランを策定する際に、区内で総合事業のサービスの供給量は不足していますか (それぞれに1つ○)。**

	充足している	現在は、充足しているが、今後不足する	不足している	分からない
a. 訪問サービス	1	2	3	4
b. 通所サービス	1	2	3	4
c. 生活支援サービス	1	2	3	4

**問 13 ケアプランを立てる際に、併設事業所以外の介護サービス提供事業者との連携を図られていますか (1つに○)。**

1. 連携している	3. どちらともいえない
2. 概ね連携している	4. 連携していない

問 14へ

**問 13で「4. 連携していない」と回答した事業所にお聞きします。**

**問 13-1 併設事業所以外の介護サービス提供事業者と連携していない理由は何ですか (いくつでも○)。**

1. 利用者ごとに主治医が異なるため	4. 開設して間もない
2. 必要性がない	5. その他
3. 今後、連携を予定している	( )

**問 14 ケアプランを立てる際に、主治医との連携を図られていますか (1つに○)。**

1. 連携している	3. どちらともいえない
2. 概ね連携している	4. 連携していない

問 15へ

**問 14で「4. 連携していない」と回答した事業所にお聞きします。**

**問 14-1 主治医と連携していない理由は何ですか (いくつでも○)。**

1. 利用者ごとに主治医が異なるため	4. 開設して間もない
2. 必要性がない	5. その他
3. 今後、連携を予定している	( )

問15 ケアプランを立てる際に、特に対応が難しいのはどのような時ですか。本人の状況と家族の状況についてお答えください（1つに○）。

【本人の状況】

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 身寄りがいない       | 3. 経済的な問題で必要なサービスを組み込めない |
| 2. 認知症のため判断ができない | 4. その他（ ）                |

【家族の状況】

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 家族の協力が得られない            | 3. 家族間の考えが一致しない |
| 2. サービス利用者本人と家族との考えが一致しない | 4. その他（ ）       |

問16 貴事業所は、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースの場合、地域包括支援センターへつないでいますか（1つに○）。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. すべて地域包括支援センターへつないでいる    |
| 2. あきらかに虐待と確認できた場合のみつないでいる |
| 3. 事業所内での対応にとどめている         |
| 4. その他（ ）                  |

問17 貴事業所は、高齢者に対する虐待に早期に対応するためにはなにが必要だと思いますか（1つに○）。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 相談窓口の充実           | 4. 介護サービスの提供拡大       |
| 2. 介護者のレスパイト（息抜き）の充実 | 5. 介護サービス提供者等による早期発見 |
| 3. 地域の声の見守り          | 6. その他（ ）            |

問18 地域包括ケアシステムの推進に向けて、高齢者が自宅や地域で暮らし続けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

- |  |
|--|
| 1. 医療機関・介護事業所等の連携の強化   |
| 2. 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」等の在宅介護サービスの拡充 |
| 3. 認知症に対する正しい理解の普及や地域における見守り体制の充実                                |
| 4. 運動機能を回復させるためのリハビリテーション機関の充実                                   |
| 5. 地縁やボランティアを活かした地域の見守りの推進                                       |
| 6. 介護する家族へのケア  |
| 7. 緊急時に入院・入所できる体制づくり   |
| 8. 高齢者でも入居できる住宅の確保   |
| 9. その他（ ）  |

問19 利用者が安心して在宅医療を受けるために、今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 医師からの診療方針の説明       | 6. 緊急時の入院先の確保      |
| 2. 医療機関と介護事業所との情報共有   | 7. 区民への普及・啓発、家族の理解 |
| 3. 24時間対応できる医療サービスの提供 | 8. 家族の定期的な見守り      |
| 4. 24時間対応できる介護サービスの提供 | 9. その他（ ）          |
| 5. 利用できるサービス内容の周知     |                    |

問20 医療機関と連携はこれまでよりも強化されていますか（1つに○）。

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 非常に強化されている | 3. 変わらない  |
| 2. 強化されている    | 4. 弱まっている |

問21 貴事業所では、利用者や家族等から看取りの相談を受けたことがありますか（1つに○）。

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 相談を受ける体制があり、受けたことがある  |
| 2. 相談を受ける体制はあるが、受けたことはない |
| 3. 相談を受ける体制がなく、受けていない    |

問22へ

問21で「1. 受けたことがある」と回答した事業所にお問します。

問21-1 看取りの相談を受けた際、どのような対応をされましたか（1つに○）。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 医療機関と連携を図る | 3. 訪問診療・訪問看護を入れる |
| 2. 家族や本人の意向確認 | 4. その他（ ）        |

問22 高齢者の健康を維持・向上させていくため、介護予防事業として今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか（3つまで○）。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. ウォーキング教室 | 5. 保健師による総合的な指導 |
| 2. リハビリ運動   | 6. 口腔ケアに関する講座   |
| 3. 介護予防体操   | 7. 栄養改善に関する講座   |
| 4. 脳トレ      | 8. その他（ ）       |

問23 認知症高齢者に関して今後さらに強化が必要な取り組みは何ですか(いくつでも○)。

1. 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進  
(講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発、認知症サポーターの養成と活動の支援等)
2. 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供  
(早期診断・早期対応のための体制整備、医療・介護の連携の推進等)
3. 若年性認知症施策の強化  
(若年性認知症の理解の促進、支援ハンドブックの配布等)
4. 認知症の人の介護者への支援  
(認知症カフェの設置、家族の交流会や家族相談会などの支援等)
5. 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進  
(徘徊高齢者検索情報ネットワークの充実、見守りキーホルダー、あんしんプリントの普及啓発、認知症グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備等)
6. 認知症の人やその家族の視点の重視(認知症の人が自らの言葉で語る環境づくり)
7. その他(具体的に: )

問24 貴事業所は、現在の介護保険サービスは高齢者の自立支援を促進する役割を果たしていると思いますか(いくつでも○)。

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 果たしている    | 4. 果たしているとは思えない |
| 2. 概ね果たしている  | 5. その他( )       |
| 3. どちらとも思えない |                 |

問25 貴事業所において、足立区で居宅介護支援事業を行う上での問題点はありますか(いくつでも○)。

1. サービス内容の変更やキャンセルが多い
2. サービス担当者会議(ケアカンファレンス)の開催調整が困難である
3. 処遇困難者への対応について、負担が大きい
4. サービス事業者の情報が不足している
5. 区の保健福祉施策に関する情報が不足している
6. 介護保険サービス利用の仕組みに関する説明が難しい
7. 最新・適切な介護保険制度に関する情報が不足している
8. 給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い
9. その他( )
10. 問題点はない

問26 現在、事務負担はどの程度ですか(1つに○)。

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. とても重い | 2. 少し重い | 3. 重たくない |
|----------|---------|----------|

問27 高齢者保健・福祉事業や介護保険制度について、区へのご要望、ご意見などがありましたら、お聞かせください。

——ご協力ありがとうございました——